

惑星に魅入られた奇跡の漫画家・萩尾望都が描きだした星々が煌く、夢の展示空間が実現

夢の展示空間が実現

会場

神戸ゆかりの美術館

©萩尾望都/秋田書店

HAGIOMOTO

萩尾望都SF原画展

宇宙にあそび、異世界にはばたく

SF Artworks

開催日時

2017年9月9日(土)

11月5日(日)

開館時間

午前10時—午後5時

※入館は午後4時30分まで

©萩尾望都/秋田書店

※休館日：月曜日(ただし9月18日、10月9日開館)、9月19日、10月10日

主催 神戸ゆかりの美術館 朝日新聞社 協力 株式会社河出書房新社

萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく

2017年9月9日(土) - 11月5日(日)

開館時間 午前10時 - 午後5時
 ※入館は午後4時30分まで
 ※休館日 月曜日(ただし9月18日、10月9日開館)、9月19日、10月10日

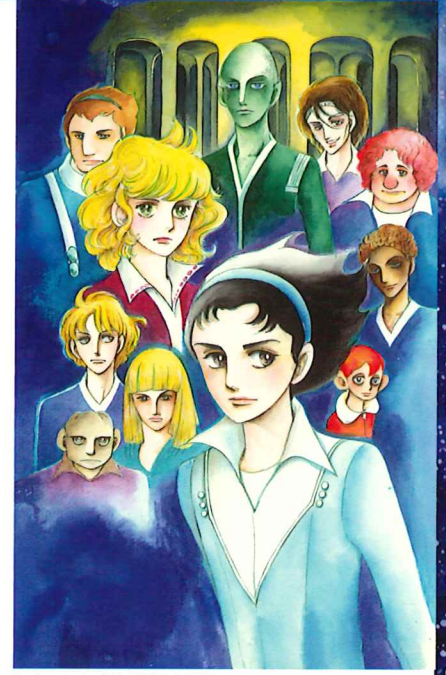
会場 神戸ゆかりの美術館

日本の少女漫画史におけるSFの黎明期を担った萩尾望都のカラーイラストレーション、コミック生原稿など、約400点のSF原画が大集合

1969年に『ルルとミミ』でデビュー以降、『ポーの一族』や『トーマの心臓』など不朽の名作を生み、幅広いジャンルを手掛けてきた萩尾望都。大島弓子など同時期に人気を集めた漫画家らとともに「花の24年組」と呼ばれ、1970年代の少女漫画黄金期を築きました。

そうした中で1975年に発表された『11人いる!』は、従来の少女漫画では例をみない本格的SF作品として、その華麗なる登場が当時の漫画界に衝撃を与えます。以後、『百億の星と千億の夜』(原作:光瀬龍)、『スター・レッド』、『銀の三角』、『マージナル』、『バルバラ異界』などの名作を世に送り出し、今も多くのファンを魅了してやみません。

本展覧会では、日本の少女漫画史におけるSFの黎明期を担った萩尾望都のカラーイラストレーション、コミック生原稿など、約400点のSF原画が大集合。惑星に魅入られた奇跡の漫画家・萩尾望都が描きだした星々が煌々、夢の展示空間が実現します!



「11人いる!」 ©萩尾望都/小学館



「惑乱の公子」 ©萩尾望都



「あぶない丘の家」 ©萩尾望都



「マージナル」 ©萩尾望都/小学館



HAGIOMOTO

萩尾望都SF原画展

SF Artworks

はぎおもと
 萩尾望都

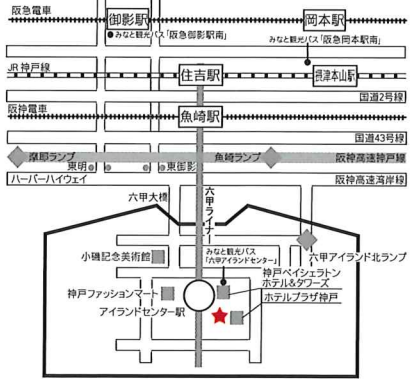
1949年、福岡県大牟田市生まれ。1969年デビュー。
 SF界では、星雲賞コミック部門で3度ももの栄冠(1980年に『スター・レッド』、1983年に『銀の三角』、1985年に『X+Y』で受賞)という金字塔を打ち建て、2006年には『バルバラ異界』で日本SF大賞を受賞。
 また2012年に少女漫画家として初の紫綬褒章を受章、2017年に朝日賞を受賞している。

入館料

一般 900(750)円/大学生 700(550)円
 高校生 500(400)円/小・中学生 350(250)円
 ※()内は20名以上の団体 ※神戸市すこやかカード提示の方は一般当日の半額 ※のびのびパスポート提示の方は無料

関連イベント

- ① 対談 萩尾望都×森見登美彦(小説家)
 [日時] 9月9日(土) 午後2時-4時
 [場所] オルビスホール(当館建物5階)
 [定員] 400名
 - ② 子供のための美術講座 宇宙をのぞく、万華鏡づくり
 [日時] 10月1日(日) 午後2時-4時
 [場所] 第2セミナー室(当館建物4階) [対象] 小学生 [定員] 15名
- [申込方法] ①②とも往復はがき(1枚につき2名まで)に「イベント名・住所・参加者全員のお名前・年齢・電話番号」をご記入の上、返信宛名面にも応募者の郵便番号・住所・お名前を明記し、下記の宛先までお申し込みください。
 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1 神戸ゆかりの美術館
- ①は8月18日[金]、②は9月19日[火]必着。応募多数の場合は抽選。 ※入場無料。いずれも要入館券。
 [共催] 神戸ファッション美術館



- JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」乗り換え六甲ライナー「アイランドセンター」下車 南東すぐ
- 阪急「御影駅」乗り換え、みなと観光バス「阪急御影駅南」バス停から「六甲アイランドセンター」下車南へ徒歩3分
- 阪急「岡本駅」乗り換え、みなと観光バス「阪急岡本駅南」バス停から「六甲アイランドセンター」下車南へ徒歩3分
- お車の方は美術館隣接神戸ファッションプラザ駐車場(有料)をご利用ください。

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM
 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
 TEL 078-858-1520
<http://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>